【西九州させぼ広域都市圏】在宅医療・介護連携推進事業

令和８年度第２回多職種連携研修会（担当地区：平戸市）

概要書

研修会テーマ	その人らしい「これから」を、ともに支える-ACP への向き合い方・関わり方と、地域でできること-
講　　師	リエゾン地域福祉研究所　代表 （株式会社 Rensa　取締役）丸山　法子　先生 [講師プロフィール] 広島県社会福祉協議会で、生活相談、地域福祉、事業企画等に携わり、管理職を経験。その後、リエゾン地域福祉研究所を設立し、自治体、社会福祉協議会、医療・福祉・介護現場等への研修・コンサルティングに従事。厚生労働省や東京都の事業にも携わるなど、制度と現場の双方から福祉課題に関わってきた。現在は、本人の思いや価値観を尊重した対話や意思決定、地域で人を支える関係づくりをテーマに、「この人にどう向き合うか」を参加者とともに考える研修・講演を全国で行っている。社会福祉士・介護福祉士。
目　　的	本研修は、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）を単なる「人生の最終段階の決定」ではなく、本人が大切にしたい思いや暮らしを家族や支援者と対話しながら支えるプロセスとして捉え直し、現場での関わり方や地域全体での支え合いの視点を深めることを目的とする。
日　　時	令和８年 12 月 19 日（土）13:30～16:30（12:45 開場）
方法／場所	集合形式　　（講演・グループワーク、定員 180 人） 平戸文化センター　大ホール　（平戸市岩の上町 1529 番地） 参加費：無料　／　駐車場：無料（※できる限り乗り合わせの上、お越しください）
参加対象	西九州させぼ広域都市圏内の医療・介護従事者および地域の支援に関わる方 ※７市町（佐世保市・平戸市・松浦市・西海市・佐々町・伊万里市・有田町）
内　　容	**１　ACP の基本と自分の経験の振り返り** （１）ACP の基本確認（講義） （２）自身の関わりを振り返るグループ演習 **２　実践的な視点の整理と事例検討** （１）本人に必要な３つの視点（READY・VALUE・STYLE）の解説 （２）事例を通した関わり方・声かけのグループ演習 **３　地域での実践とまとめ** （１）日常から支援や連携につなげるための講義・演習 （２）模造紙ワーク：「話せる人・気づく人・つなぐ仕組み」を地域にどう作るか （３）振り返りと行動化（まとめ）
単　　位	すべてのプログラムの出席により認定 • 日本医師会生涯教育講座（長崎県医師会承認講座） • 長崎県・佐賀県「主任介護支援専門員更新研修」に該当する法定外研修